



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 クラボウ(倉敷紡績株式会社)
 コード番号 3106 URL <http://www.kurabco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長
 四半期報告書提出予定期 平成26年2月14日
 配当支払開始予定期 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6266-5136

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	121,362	12.5	1,436	36.7	1,605	141.0	402	△16.8
25年3月期第3四半期	107,871	△8.9	1,050	△66.3	666	△79.7	483	△77.5

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 3,376百万円 (137.9%) 25年3月期第3四半期 1,419百万円 (708.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	1.74	—
25年3月期第3四半期	2.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	188,110	90,600	46.4
25年3月期	180,705	88,405	47.2

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 87,275百万円 25年3月期 85,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	8.9	3,200	19.8	3,600	59.5	1,800	111.3	7.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	246,939,284 株	25年3月期	246,939,284 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	16,248,622 株	25年3月期	16,227,899 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	230,701,039 株	25年3月期3Q	230,717,241 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P3、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、経済対策による公共投資の増加や株価の上昇に加え、雇用・所得環境の改善や消費税率引き上げ前の駆け込み需要により個人消費も持ち直すなど、景気は緩やかながら回復基調となりました。

このような環境下にあって当社グループは、事業環境の変化にフレキシブルに対応できる事業基盤の構築を目指し、中期経営計画「Future'15」を平成25年4月からスタートしました。その基本方針である「海外戦略の充実」のもと、成長分野・新規市場の開拓と深耕、生産・販売拠点の拡充と再構築、新商品・新技術の開発等に注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,213億円（前年同期比12.5%増）、営業利益は14億3千万円（同36.7%増）、経常利益は16億円（同141.0%増）、四半期純利益は4億円（同16.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(繊維事業)

ユニフォーム分野では、ワーキング用素材が引き続く在庫調整の影響により需要が落ち込み、またカジュアル分野も依然として衣料製品デフレが継続しており、きびしい状況が続きました。一方、原糸分野は、グローバルな生産・販売により好調に推移し、また繊維資材分野では、フィルター向け不織布の需要が順調でした。

海外子会社におきましては、ブラジルが緩やかながら市況回復基調にあり、また東南アジアでも洪水被害を受けたタイの子会社の生産設備が完全復旧したことなどにより、全般的に堅調に推移しました。

この結果、売上高は675億円（前年同期比14.6%増）、営業利益は6億7千万円（前年同期は営業損失3億9千万円）となりました。

なお、デニム事業再編の一環として、平成25年4月に香港の子会社株式を売却する一方、収益力の向上を目指し、新たに合弁会社を設立しました。

(化成品事業)

自動車内装材向け軟質ウレタンフォームは、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により、秋以降は自動車の国内販売台数が増加するなど堅調に推移しました。

住宅建材分野では、新設住宅の着工が持ち直し傾向にあり堅調に推移しましたが、機能フィルム分野は、原料価格上昇の影響などにより、きびしい状況が続きました。

この結果、売上高は352億円（前年同期比15.1%増）となりましたが、コストアップの影響などにより、営業利益は5千万円（同49.8%減）となりました。

なお、自動車内装材向け軟質ウレタンフォームの生産拠点の拡充を図るため、海外では平成25年8月に中国広州市の「広州倉福塑料有限公司」をグループの傘下に加え、国内では同年9月から東名化成㈱の新しい製造拠点である「埼玉工場」の操業を開始しました。

(不動産活用事業)

不動産業界全般がきびしい状況にあるなか、賃貸事業の推進に注力した結果、売上高は46億円（前年同期比1.1%減）、営業利益は23億3千万円（同1.4%増）となりました。

なお、大規模太陽光発電所（メガソーラー）用地として、平成25年5月から三重県津市の社有地の賃貸を開始し、愛媛県松山市の社有地につきましても平成26年5月（予定）から賃貸することを決定しました。

(工作機械事業)

主力の横中ぐりフライス盤は、国内販売は堅調に推移しました。また輸出は、北米向けやアジア向けは堅調に推移したもの、欧州向けが低迷しました。

この結果、売上高は39億円（前年同期比1.1%増）、営業利益は2億1千万円（同27.0%減）となりました。

(エレクトロニクス事業)

攪拌脱泡装置や赤外線膜厚計は堅調に推移しましたが、基板検査装置や半導体向け成分計は低調に推移しました。

この結果、売上高は25億円（前年同期比8.6%減）、営業損失は2億円（前年同期は営業損失2億1千万円）となりました。

(その他の事業)

エンジニアリング事業は、水処理装置は低調に推移しましたが、ガス処理装置は堅調に推移しました。

バイオメディカル事業は、遺伝子受託解析サービスは堅調に推移しましたが、海外向けの核酸自動分離装置は低調に推移しました。

食品事業は、健康食品向け製品は低調に推移しましたが、スープ市場向け及び製菓向け製品が好調に推移し、即席めん具材も堅調でした。

この結果、その他の事業の売上高は74億円（前年同期比7.6%増）、営業損失は7千万円（前年同期は営業損失1億4千万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権や投資有価証券が増加したことなどにより、1,881億円と前連結会計年度末に比べ74億円増加しました。

負債は、仕入債務や短期借入金が増加したことなどにより、975億円と前連結会計年度末に比べ52億円増加しました。

純資産は、利益剰余金は減少しましたが、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加したことなどにより、906億円と前連結会計年度末に比べ21億円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は0.8ポイント低下して46.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月6日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,384	13,109
受取手形及び売掛金	37,957	41,357
有価証券	182	1
商品及び製品	14,375	15,412
仕掛品	6,641	8,088
原材料及び貯蔵品	5,093	5,032
その他	5,751	6,652
貸倒引当金	△138	△98
流動資産合計	83,246	89,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,132	26,836
その他（純額）	29,946	28,802
有形固定資産合計	57,078	55,639
無形固定資産	1,641	1,421
投資その他の資産		
投資有価証券	33,848	36,296
その他	5,169	6,122
貸倒引当金	△277	△923
投資その他の資産合計	38,739	41,495
固定資産合計	97,459	98,555
資産合計	180,705	188,110
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,784	23,987
短期借入金	26,661	29,075
未払法人税等	797	500
賞与引当金	1,229	461
事業構造改善引当金	1,483	393
その他	9,172	9,095
流動負債合計	59,128	63,513
固定負債		
長期借入金	3,403	3,924
退職給付引当金	7,970	7,909
役員退職慰労引当金	205	158
その他	21,591	22,004
固定負債合計	33,171	33,997
負債合計	92,300	97,510

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,040	22,040
資本剰余金	18,207	18,207
利益剰余金	48,187	47,436
自己株式	△2,965	△2,968
株主資本合計	85,470	84,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,549	10,167
繰延ヘッジ損益	67	137
為替換算調整勘定	△8,711	△7,745
その他の包括利益累計額合計	△94	2,559
少数株主持分	3,030	3,325
純資産合計	88,405	90,600
負債純資産合計	180,705	188,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	107,871	121,362
売上原価	91,267	103,102
売上総利益	16,603	18,260
販売費及び一般管理費	15,553	16,824
営業利益	1,050	1,436
営業外収益		
受取利息	78	86
受取配当金	593	619
持分法による投資利益	12	34
為替差益	—	432
その他	384	686
営業外収益合計	1,069	1,860
営業外費用		
支払利息	418	424
貸倒引当金繰入額	—	679
その他	1,035	586
営業外費用合計	1,454	1,690
経常利益	666	1,605
特別利益		
保険差益	847	—
特別利益合計	847	—
特別損失		
関係会社株式売却損	—	449
特別損失合計	—	449
税金等調整前四半期純利益	1,513	1,155
法人税等	655	719
少数株主損益調整前四半期純利益	858	435
少数株主利益	374	33
四半期純利益	483	402

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	858	435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	734	1,616
繰延ヘッジ損益	9	69
為替換算調整勘定	△191	1,214
持分法適用会社に対する持分相当額	8	40
その他の包括利益合計	561	2,941
四半期包括利益	1,419	3,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,018	3,056
少数株主に係る四半期包括利益	400	320

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他の事業 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結損益計算書計上額 (注)3 (百万円)
	繊維事業 (百万円)	化成品事業 (百万円)	不動産活用事業 (百万円)	工作機械事業 (百万円)	エレクトロニクス事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高										
外部顧客への売上高	58,971	30,583	4,684	3,904	2,841	100,985	6,885	107,871	—	107,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	36	123	1	16	188	698	887	△887	—
計	58,983	30,620	4,807	3,905	2,857	101,174	7,584	108,758	△887	107,871
セグメント利益 又は損失(△)	△392	105	2,301	297	△214	2,097	△141	1,956	△906	1,050

- (注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、バイオメディカル事業、食品事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額△906百万円には、全社費用△900百万円及びその他の調整額△5百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他の事業 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結損益計算書計上額 (注)3 (百万円)
	繊維事業 (百万円)	化成品事業 (百万円)	不動産活用事業 (百万円)	工作機械事業 (百万円)	エレクトロニクス事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高										
外部顧客への売上高	67,576	35,200	4,634	3,946	2,597	113,955	7,407	121,362	—	121,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	27	122	0	13	178	229	407	△407	—
計	67,590	35,227	4,756	3,946	2,611	114,133	7,637	121,770	△407	121,362
セグメント利益 又は損失(△)	670	52	2,334	217	△200	3,074	△72	3,001	△1,565	1,436

- (注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、バイオメディカル事業、食品事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額△1,565百万円には、全社費用△1,571百万円及びその他の調整額5百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。